

『北海道のインバウンド受け入れ拡大に向けて』

— Mr入江の最新オペレーションとは？—

「北海道教育旅行大使」

(公益社団法人) ベトナム協会理事

(公益社団法人) 日本マレーシア協会学校教育担当理事

入江 祥史

(I) はじめに

2023年5月8日、新型コロナウイルスの感染上の位置づけが、季節性インフルエンザと同等の「5類」に引き下げられ、ようやく、昔の日常に戻りつつある。最近のネットニュースや新聞をみても、毎日、全国各地で、待望していた訪日外国人観光客で、いっぱいになっていると報道され、各専門家の方々も、このままいくと「2023年のインバウンド需要が、コロナ前を上回るのではないか」と強気の子想が、日に日に強くなっていると感じる。そこで、「今後、北海道におけるインバウンドをどうするか？」について、今回は、特別に40年近く、インバウンドに関わった、入江の考えを述べることにする。

(II) 今、入江が着目している「北海道のターゲット」とは、

添付している「国土交通省・北海道運輸局」が、公表している、最新の「訪日外国人消費動向調査」(2023年1-3月期・一次速報)をみて、入江は、その結果を3つのグループに分類して、それぞれ、異なる対策が急務であると考え、

第一グループ—韓国・台湾・香港・中国

第二グループ—タイ・ベトナム・マレーシア・インドネシア・シンガポール・フィリピン

第三グループ—アメリカをはじめとする、欧米諸国、個人ツアー

2023年6月15日付の読売新聞朝刊によると、「読売新聞社」と「韓国日報社」の共同世論調査で、現在の日韓関係が「以前より良くなった。」と答えた人の割合が、日韓双方で大幅に増え、現在の韓国は再び「日本ブーム」に沸き、今後も、訪日韓国人数も、当然大幅な増加が期待できるとされている。

しかし、その中でも、入江は、第二グループに着目している。その最大の理由は、「第一グループの国々」は、中国を代表されるように、どの国・地域も、今後政治的な要素(政府の考え)が大きく影響しており、現在、好調な韓国であっても「いつ、なんどき、何が起こるか？」わからない。具体的に言うと、現在の保守「ユン・ソン・ニョル政権」が、日本との関係改善をすすめたことにより、現在の訪日良好な状況が生れている。一方、今の韓国野党は、以前から「東京電力福島第一原子力発電所」の処理水の海洋放出問題や、「元慰安婦問題」「元徴用工への賠償問題」などで、韓国全土で反日運動をいまなお、加速させている。また、過去、訪日外国人観光客数がダントツ、トップを誇っていた中国も「台湾問題」をはじめとする日米の対中国政策に対抗し、日本への制裁として、今だに、「日本への個人団体ツアー」を許可していない現状である。

それと比較して、第二グループの国々は、入江の過去の体験上でも証明されるように、元来、親日家の人々が多数を占め、政治的なリスクがない、最も安心かつ、安定してお付き合いできる相手国であり、なおかつ、近年、インドネシア・マレーシア・ベトナムの経済発展は目覚ましく、国民一人一人の年間総収入も着しく増加し、若者から、ファミリー層までの幅広い、訪日旅行へのニーズが高まっている。

(III) 受け入れ拡大に向けて、今必要な体制づくりとは、

最近の調査機関のデータによれば、訪日外国人が、「日本を旅行中に最も、不便に(困ったと)感じたこととは何か？」という質問から、今の北海道の受け入れ体制が、どれだけ整備されているかを考えてほしい。

＜外国人が訪日して、最も不便で困ったことは、＞

- 第1位 「Wi-Fi 環境」が悪すぎる
- 第2位 「施設等のスタッフとのコミュニケーションがとれない」
- 第3位 「多言語表示の少なさ・わかりにくさ」(観光案内板・地図)
- 第4位 「公共交通を利用する時の不便」
- 第5位 「ゴミ箱が少ない」
- 第6位 「決済手段・モバイルペイメント」
- 第7位 「クレジットカード・デビットカードの利用できる施設が不足」
- 第8位 「喫煙できるところの少なさ・喫煙できる場所がわかりにくい」
- 第9位 「両替場所、やり方」(日本の地方に行けば行くほど、現金が必要だから)
- 第10位 「鉄道や、バスの割引きっぷ」

※今後の北海道は、逆にこれらのポイントをすべて『売り』にできないか？

＜各国における、最新のキャッシュレス決済の実態＞

- 【韓国】 “世界一のキャッシュレス大国と言われる” 国内キャッシュレス比率 96%を超える
最近、クレジットカードより、デビットカード(VISAなどの国際ブランド)を利用する韓国人が増加
今後、北海道全土で、どんな小さな商店でも、カード対応は必須。
特に LINE PAY(ラインペイ)では、『Kakao Pay』(カカオペイ)、『Naver Pay』が目立つ
- 【中国】 デビットカードは『銀聯カード』
スマホ決済は、『支付宝 Ali Pay』(アリペイ)、『微信支付 WeChat ペイ』
- 【台湾】 最近、注目しているのは、Z世代を中心に『LINE PAY』が増加、この『LINE PAY』は、日本だけでなく、台湾、タイ、韓国に相互乗り入れをしているため、かつ、日本の『LINE PAY』は、『Pay Pay』と相互乗り入れしている2つの加盟店で使用可能
台湾の交通カード『悠遊カード』(Easy Card、ヨウヨウ)、
スマホ決済は『街口支付 JK0 Pay』(ジエコウ)
- 【香港】 高所得者はクレジットカードの利用頻度が昔から、高い。
中国の『微信支付 WeChat』、交通カード『八達通』(オクトパスカード)
- 【タイ】 タイ政府が後押ししているスマホ決済『Prompt Pay』、
交通カード『Rabbit』と提携した『Rabbit LINE Pay』が最近、大きなシェアを持っている。
- 【アメリカ、欧州】 今後の課題として、クレジットカードのコンタクトレス決済に対応しておく必要がある。
団体申込より、個人ツアーの人々が圧倒的に多く、長期滞在型(1~2週間以上)が特徴

＜今回の入江の提案Part1＞“インバウンドが求めるクオリティとは何か？”

1. 東南アジアのムスリム(イスラム教信者)への対応とPR—インスタ・TikTok・LINE・メタバースの活用—
2. 訪日外国人用の体験プログラムをもう一度、見直す。例えば、北海道に居ながら、日本全体を味わえないか？(①季節に関わらず、お祭り・緑日・屋台を体験できる。②全世界が認めている、日本のアニメ・スターのコスプレができる。③持ち帰りのできる手作り体験、北海道独自のものでなくても可)
3. 北海道179市町村のHPを訪日外国人用に作り変える。—中国語・韓国語・英語・マレー語対応—
4. 北海道共通のインバウンド対策シート(パウチの手作りシート質問紙・解答紙)の制作または、改良。
すべての人が、簡単に訪日外国人とコミュニケーションが取れるように、そのシートを見ながら会話する。
『道の駅』だけでなく、地元の役場や商店・一般家庭まで、4か国対応シートを早急に配布・活用する。
5. 外国人用の民泊プログラムを考え直す。どうしたらリピーターを増やせるか？日本人の“おもてなしの心”
6. コストをかけずに、“キャッシュレス決済”を北海道中に広めるために、すべての道民に訴えたい。

＜入江の提案Part2＞

1. 海外・国内を問わず、日本のアニメ・マンガ・映画の聖地をめぐり、夢の地のプログラムを作り上げる。

【北海道内のアニメ聖地巡礼】——訪日外国人にも大人気

- ① 「ゴールデンカムイ」(金カミ)の聖地巡礼——「北海道開拓の村」「洞爺湖博物館」
- ② 「訪ねてみたい日本のアニメ聖地88」2023年版より
「青森県 真砂」(函館市)・「ラブライブ！サンシャイン！！」(函館市)
「機動戦艦デビル」(苫小牧市)・「天体のソラ」(洞爺湖町)
- ③ 「銀の匙 Silver Spoon」(帯広市・帯広競馬場・帯広公園・帯広神社)
- ④ 「明日ちゃんのセーラー服」(函館市・道立女子中等高等学校)
- ⑤ 「うしおととら」(旭川空港・神居古潭・苫小牧西遊フェリーターミナル)
- ⑥ 「星い出のマーニー」(網走市・網走温泉・厚岸真龍神社)
- ⑦ 「君に届け」(網走市・網走神社)
- ⑧ 「WORKING!!」(札幌市青森公園・平岡公園)

2. 訪日外国人も参加できる、全国規模のイベント「コスプレ・フェス」を開催する。

もちろん、179市町村単位の小規模フェスから、開催もスタートさせる。——だれでも、制約なしに参加可「北海道新聞」をはじめとする地元マスコミに後援をお願いし、また共催企業を全国に募集する。

3. 北海道内の「バス会社」や「レンタカー会社」との協力・連合体を組織し、イベントに特化したプロダクトを早急に作り上げ、「道内、どこでも、訪日外国人が簡単に利用できる交通パス」を新規に制作する。特に、訪日外国人の若者を対象とする「インバウンド学割」の創設。

4. 『外国人が大好きな日本アニメ——北海道内で、可視化できないか？』

北海道と言えば、『アニメの聖地』と呼ばれたい。

One-piece ワンピース	水菓	進撃の巨人
ナルト	イエスタデイをうたって	攻殻機動隊
新世紀エヴァンゲリオン	かぐや姫は告げたい	鋼の錬金術師
ドラゴンボール	砂漠5センチメートル	
鬼滅の刃	鬼灯の冷徹	
美少女戦士セーラームーン	デスノート	
機動戦士ガンダム	ノードアート・オンライン	
ポケットモンスターシリーズ	涼宮ハルヒの憂鬱	

＜イスラム教徒(ムスリム)のおもてなし注意点＞

(I)「豚肉、豚由来成分は、禁忌・タブーです。」——豚脂・粉末・豚エキス・ハム・ベーコン・ソーセージ類

ハラール(HALAL)——“許可された”“容認された”“合法的”という意味
“イスラム教の教義にのっとった、許可された食べ物”

ハラム(HARAM)——“禁じられた”“違法な”という意味
“イスラム教では、食べてはいけないもの”

※豚肉を調理した際の、包丁・まな板・フライパン・鍋など調理器具や食器についても好ましくありません。

(II)「アルコールも代表的な禁忌・タブーです。」

お酒だけでなく、料理に使用したお酒・みりんなどの調味料にも、気をつけること。

(III)「イスラム教では、左より、右を優先するという思想がある。」

例えば、左利きの人でも、食事は右手で食べます。逆に、左手は、用便をするときに用いられます。“不浄な手”と考えられ、衣服の着脱も、右手・右足から行うのが正式とされている。

(IV)「ムスリムは、1日5回、太陽の動きに従った時刻に、礼拝をします。」

心身を清め、「キブラ KIBLAT」(サウジアラビア・メッカの方向をさす矢印)に向かって、礼拝する。ホテルの部屋には、必ず、「キブラ KIBLAT」をしめす矢印の標識か、“キブラコンパス”を用意する。

(V)ムスリムの生活習慣

①「異性への接客には、十分注意が必要。」

②「お風呂への案内は、配慮が必要。」

③「犬を近づけないよう」(イスラムでは、犬になめられると汚れると考えられている。)

(VI)「イスラムの教えでは、偶像禁止」

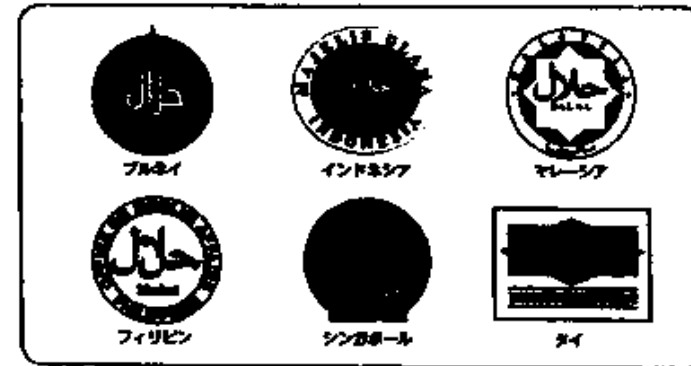
人形や、人・動物のポストカード等のお土産を渡す際は、本人に聞いてから渡してほしい。

(VII)「断食月(ラマダン)には、特別な配慮が必要」

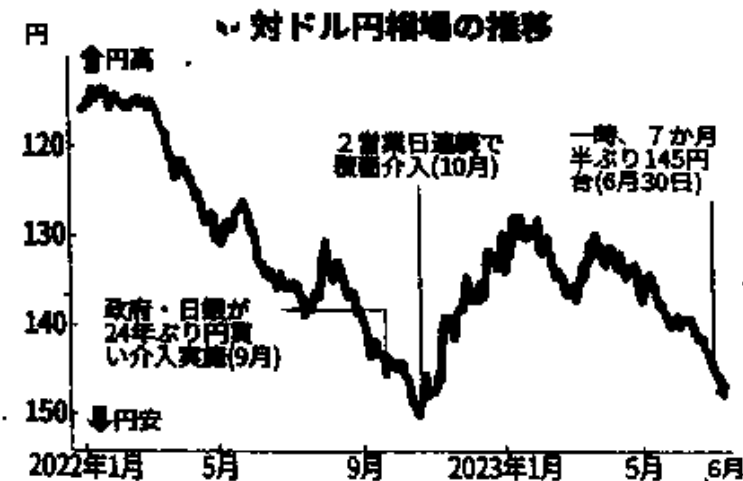
イスラムには、1年1度、「夜明けから、日の入りまで、断食(サウム)を約30日断ずる。」毎年異なる。



キブラ表示の例



ASEAN 圏内に見られるハラール認証マーク



交換レート

米ドル	145.56
カナダドル	110.91
EUユーロ	158.87
英ポンド	187.81
スイスフラン	162.15
豪州ドル	98.73
ニュージーランドドル	91.69
シンガポールドル	108.00
タイバーツ	4.23
香港ドル	18.89
韓国100ウォン	11.33
インドネシア100ルピア	1.09
フィリピンペソ	2.78
インドルピー	1.92
メキシコペソ	9.48
南アフリカランド	9.25
※台湾元	4.65
中国元	20.29
ロシアルーブル	1.84
※マレーシアリンギット	31.11
ブラジルレアル	30.89
トルコリラ	8.08
サウジアラビアリヤル	39.41
スウェーデンクローナ	13.77

単位・円。外貨預金開設、一部通貨のトラベラーズチェック購入などに適用。手数料込み。三菱UFJ銀行、みずほ銀行調べ。※は参考相場、レアルはブラジル銀行

《外国人が情報収集する時のオンライン媒体》

I.中国

- ①シートリップ
- ②ティックトック
- ③ウィーチャット
- ④ウェイボー
- ⑤レッド

【中国の主なWEBサイト】チューナー・フリギー・バイドウ・トンチェン

II.韓国

- ①ネイバー
- ②ユーチューブ
- ③ネイバーブログ
- ④インスタグラム
- ⑤ダウム

III.台湾

- ①ユーチューブ
- ②フェイスブック
- ③バックパッカーズ
- ④ピークバン旅遊
- ⑤ライン・インスタグラム

IV.香港

- ①ユーチューブ
- ②フェイスブック
- ③ゴージャパン
- ④ユーマガジン
- ⑤ライクジャパン

V.マレーシア

- ①ユーチューブ
- ②フェイスブック
- ③トリップアドバイザー
- ④インスタグラム
- ⑤各国政府観光局のHP

VI.インドネシア

- ①ユーチューブ
- ②インスタグラム
- ③フェイスブック
- ④ツイッター
- ⑤各国政府観光局のHP

VII.シンガポール

- ①ユーチューブ
- ②フェイスブック
- ③各国の政府観光局のHP
- ④チャンネルニュースアジア
- ⑤インスタグラム

《新千歳空港に乗り入れている主な外国エアライン》

I.中国——中国東方航空(MU)・中国国際航空(CA)・中国南方航空(CZ)

II.韓国——大韓航空(KE)・ジンエアー(LJ)・アジアナ航空(OZ)・エアプサン(BX)
チェジュ航空(7C)・ティーウェイ航空(TW)・エアソウル(RS)

III.台湾——チャイナエアライン(CD)・エバー航空(BR)・タイガーエア台湾(TT)
スターラックス航空(JX)

IV.香港——キャセイパシフィック航空(CX)・香港航空(HX)

V.マレーシア——エアアジアX(D7)・パティックエア・マレーシア(OD)

VI.タイ——タイ国際航空(TG)・タイエアアジア X(XJ)

VII.シンガポール——スクート(TR)・シンガポール航空はコードシェアのみ

VIII.アメリカ——ハワイアン航空(HA)

《入江祥史のプロフィール》

1954年大阪市生まれ、1976年、東京の私立高校に、「地理及び公民の専任教諭」として初赴任以来、その後、東京都公立中学校を再受職し採用され、当時の公立中学校では、20歳代として珍しく、「生活指導主任・学年主任」を歴任し、東京都板橋区・荒川区あわせて、10年間勤務した。その間に、「日本中体連バレーボール競技部」に所属し、「審判委員長及び強化委員」も兼任しながら、毎年「全国中学選抜のコーチ」として、海外遠征にも参加し、全国の男女中学生を指導した。

その活躍により、バレーボール部を強化したいと考えていた、「文京学院大学女子中学・高等学校」の理事長のたつての盛願もあり、家族の反対を振り切り、移籍を決意し、社会科の専任教諭として赴任する。その後、同校にて「学年主任・生徒募集主任・コンピューター主任・管理職待遇の総務部長等」を歴任し、29年間勤務し、2020年3月、無事に定年退職したが、コロナ禍にもかかわらず、東京都教育委員会の特別職採用試験に再チャレンジ、見事合格し、2020年から2023年3月まで、東京都立神代高等学校に勤務するも、家庭の事情(家族の介護のため)により、2023年4月より、東京都板橋区立中学校の校長補佐として異動した。これで、あわせて教員歴47年となり、いまなお、現職の教員である。

また、教育旅行分野では、自身が取得している、数々の国家資格(国際理解教育・環境教育・NIE活動)を生かし、教員になって、すぐ「日中友好協会・日本マレーシア協会・ベトナム協会」などの理事等の役員を長年歴任し、わが国の海外修学旅行推進の、最前線を長く走り続け、多方面の旅行実績を残して、46年間。教育旅行研究の活動当初から、全国各地の学校現場や専門機関から、「毎年、常に新しい修学旅行プログラムを具現化し、全国に提案し続けている。」と高い評価が得ており、全国発表も数多くある。そのため、大手旅行会社から、毎年、講演の依頼が多く、「教育旅行分野の、現場からの問題点・わが国の教育旅行の今後の姿」等のテーマで、講演している実績がある。よって、旅行における専門分野も「教育旅行」のみならず、「インバウンド」に関する分野でも、今まで長く活動を続け、世界各地に「インバウンド」における人間関係が多数存在し、「インバウンド」面にも精通している。

この度、2022年10月1日より、わが国の旅行業界初の「教育旅行大使」に任命され、本人の弁として「現在、68歳ですが、まだまだ意欲は、熱く熱く燃えており、これからも、常に新しい旅行コンテンツを提案し続ける。」と力強く語っており、今もなお、全国各地の教育現場から、毎日オファーが殺到している。

しかし、本職は、「バレーボール」。自身の競技歴も15年間(全国大会にも連続出場した)、かつ指導歴としては、「全国中学大会優勝」や「春の高校バレー準優勝」を含め、数々の全国大会出場させて合計51年。

役員歴としても、「(公益財団法人)日本スポーツ協会上級コーチ(レベル4)」として、元オリンピック選手の男女の教え子多数。また、同時に、「(公益財団法人)日本バレーボール協会公認A級審判員」として、わが国のすべてのカテゴリーの全国大会の決勝審判を毎年務め、かつ国際大会の主審を何十年も経験し、数々の実績があり、そのため、世界各地に「スポーツ面でも、数多くの人脈」を誇る教員である。

北海道の空港

○令和4年9月現在、北海道内には14の空港が所在
 空港種別では、「国管理空港」が4空港、「特定地方管理空港」が2空港、「地方管理空港」が6空港、「共用空港」が2空港となっている。
 ○令和2年、道内7空港で民間事業者による空港運営事業開始



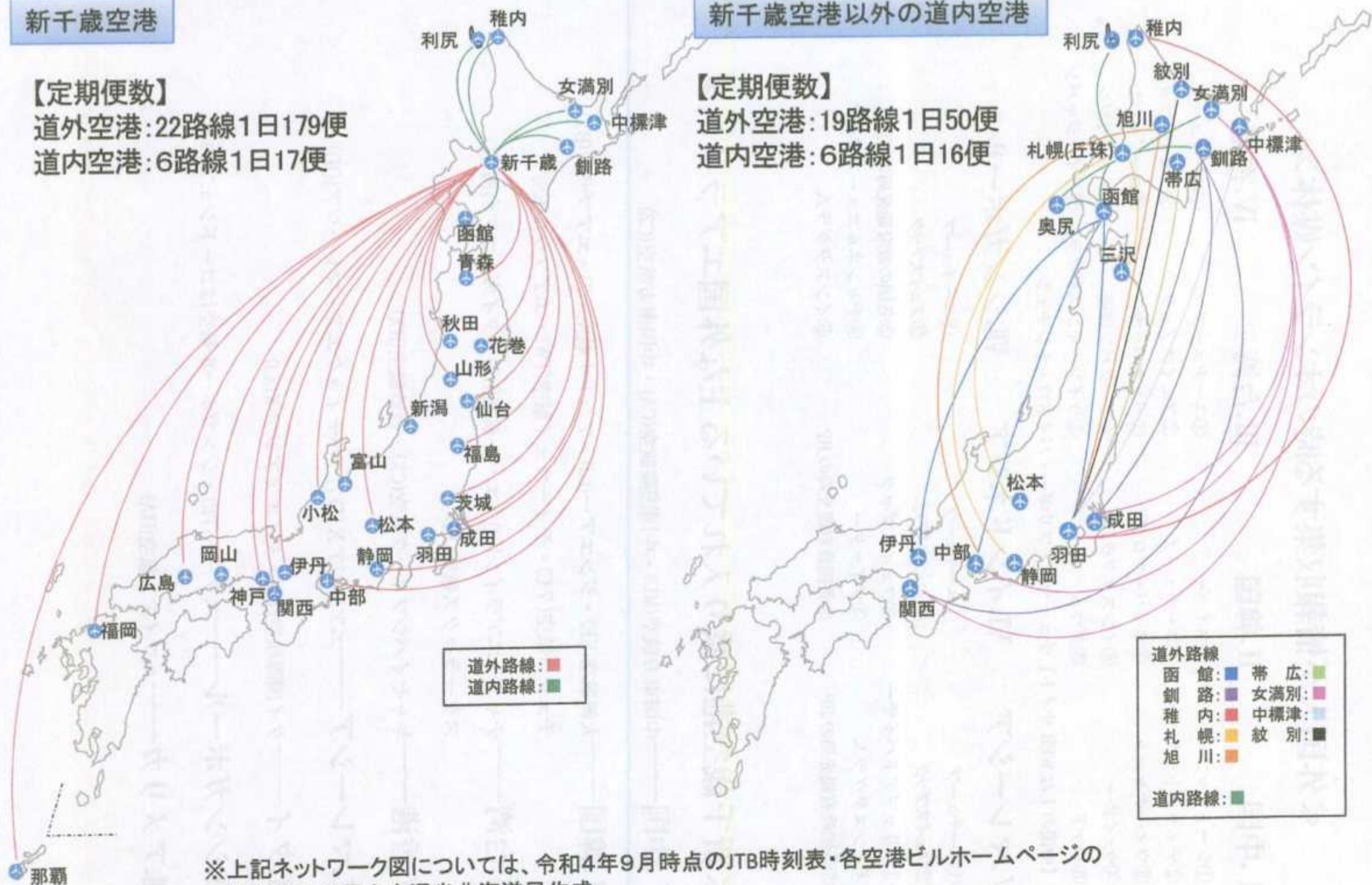
北海道の航空ネットワーク(国内線)

新千歳空港

【定期便数】
 道外空港: 22路線1日179便
 道内空港: 6路線1日17便

新千歳空港以外の道内空港

【定期便数】
 道外空港: 19路線1日50便
 道内空港: 6路線1日16便



※上記ネットワーク図については、令和4年9月時点のJTB時刻表・各空港ビルホームページの情報を元に国土交通省北海道局作成
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により一部運休あり。(令和4年9月1日現在)

『入江が注目している最新ニュース』

「北海道教育旅行大使」
(公益社団法人) ベトナム協会理事
(公益社団法人) 日本マレーシア協会学校教育担当参事
入江 祥史

- (1) 7月8日(土) 『春秋航空が、3年4か月ぶり中国・上海線を再開、来週から北京線も週2往復で再開』
中国格安航空会社(LCC) 春秋航空は、8日、上海線の運航を再開させた。初便は、8日昼過ぎ、133人を乗せて、新千歳空港に到着した。新千歳空港と中国本土を結ぶ路線の再開は、3年4か月ぶり。また、7月10日から中国国際航空も、北京線を週2往復・運航を再開し、ますます期待が高まります。
- (2) 7月8日(土) 都市型水族館『AOAO SAPPORO』7月20日オープン
札幌市中央区にオープンする『AOAO SAPPORO』は、仕事帰りに立ち寄れる夜のレジャーとして楽しめるように、午後10時まで営業している。「月明かりの水辺」をイメージした演出で、照明が落とされた館内で、今までにない、幻想的な世界を感じてほしいコンセプト。
- (3) 7月8日(土) 読売新聞朝刊によると『コロナ 沖縄で急拡大』
新型コロナウイルスの感染が急拡大している。6月26日～7月2日の1週間に報告された患者数は、1医療機関あたり、48.39人と、全国で突出している。病床利用率も、5日時点で、78%まで上昇した。
沖縄県によると、県全体の感染者数は、12280人(推計値)で、全数報告だった第8波ピーク時(1月2日～8日)の10492人を上回っている。一般病床も含めた入院者数は、5日時点で、1099人と確保病床(579床)の2倍近くに膨れ上がっている。厚生労働省も、「全国でも感染拡大すれば、医療がひっ迫する恐れがある。」と警戒感を強めている。
- (4) 7月7日(金) 『富良野市が、台湾のSNS運営会社と提携』
富良野市は、台湾で若者を中心に、絶大な人気を誇るSNS『Dcard(ディーカード)』の運営会社と、包括連携協定を結んだ。そのSNSの発信力や影響力を生かして、台湾から、富良野地域への集客につなげたり、利用解析データなどを将来の観光振興などに活用したいのが狙い。
- (5) 7月5日(水) 住友不動産が運営する『羽田エアポートガーデン』が、インバウンドを対象に、新しい取り組み
2023年1月31日に全面開業した、羽田空港第3ターミナル直結の複合施設『羽田エアポートガーデン』は、外国人観光客に向けた日本の伝統文化体験と、観光による地方創生に貢献することを目的とした取り組みです。特色として、「最初に出会う日本、最後に楽しむ日本」をコンセプトに
① 全長7メートルの“やぐら”と、日本の伝統的なストリートパフォーマンスであるチンドン屋による、日本らしい賑わいの演出
② 全国各地のお祭りや花火大会など、各地方自治体による、外国人観光客誘致を目的としたPR活動を支援するためのイベントスペース「グランドホワイエ」や、1000㎡超えの多目的ホールも完備。
③ 利用目的として、各地域の物産展や、全国各地のワークショップもできる。また、東京湾岸の観光を活性化させるため「ガーデンシャトル」も運行している。
- (6) 7月5日(水) 東京都新宿の西武新宿駅駅口に、『自動翻訳ディスプレイ』が登場した。
訪日外国人観光客が、急速に回復する中、駅の窓口での会話を、「凸版印刷」が開発した、自動翻訳してくれるディスプレイが西武新宿駅に登場する。西武鉄道は、7月10日から実証実験を始め、9月ごろには正式に導入する予定。今後、全国各地に拡大する傾向がある。5日に報道公開されたのは、「透明ディスプレイ」(縦69センチ・横75センチ)が、特急売場駅の窓口に置かれた。英語・韓国語・中国語・タイ語・フィリピン語など12か国語に対応する。会話がリアルタイムで表示され、聴覚障がい者の方々にも対応している。

(7) JTBが、『夏休みの旅行動向2023』を発表

2023年夏休み(7月15日～8月31日)の旅行動向を発表した。国内旅行人数は、7250万人(2019年比、0.1%増)で、ほぼ2019年水準まで回復し、国内旅行平均費用も4万円で、2019年比9.6%増になるとみている。一方、海外旅行人数は、120万人で、2019年比60.4%減で、海外旅行費用も23万1000円を見込む。なお、JTBの海外旅行に対する意向のアンケートでは

- ・「気分をリフレッシュするために行きたい。」「本場のおいしい料理を食べに行きたい。」
- ・「治安や健康面の問題がなければ行きたい。」
- ・「国内旅行と比べると出入国手続きなどが面倒くさそうなので、行きたくないとは思わない。」
- ・「円安や物価高の影響があり、行きたくてもいけない。」

(8) エイチ・アイ・エス(HIS)も、『2023年夏休み期間の旅行予約動向』を発表

2023年7月21日～8月31日までの、HISのツアーとダイナミックパッケージ、航空券商品が対象。それによると、同社(HIS)の海外旅行は、全体で2019年比、53.4%まで回復した。平均単価は17万8000円(前年比86.3%)。旅行先では、人気第1位『韓国』、第2位『ホノルル』、第3位『台北』、国別では、韓国が2019年水準まで急回復している。

国内旅行の人気では、第1位『沖縄県』、第2位『北海道』、第3位『長崎県』次いで大阪・鹿児島・福岡国内旅行全体では、2019年とほぼ同水準となり、平均単価も8万5000円。特に、国内旅行で予約数が急増したのは、『千葉県』(386%増)、『広島県』(234%増)、『大分県』(218%増)などとなっている。

- (9) 7月3日(月) 沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)、2023年5月の入域観光客数及び6～8月の見通しを発表
OCVBによると、5月の実績は、2019年同月比、22.3%減の64万5300人、海外からの観光客数は、2019年同月比、73.9%減と、低迷が続いている。6月については、支援や各航空会社のタイムセール、クルーズ船が、横浜港や神戸港から4回入港予定があることから、57万7000人(2019年比3%増)を見込んでいる。また、海外からの入域観光客数は、国際線全体の運行便数が、コロナ前には戻っておらず、7万3000人となる見通し。ただ、8月は、国内の夏休み需要や、FIBバスケット・ワールドカップ開催の影響で、国内外とも好調になる予定。

(10) 6月29日(木) 『ニトリが挑む 北海道・小樽再生』 歴史的建造物で町おこし

『ニトリホールディングス』(HD)は、かつて、ニシン御殿だった『銀鱈荘』と、小樽市の歴史的建造物を活用した『小樽芸術村』の局数で、2023年度ともに新型コロナウイルス禍前の実績を上回り、過去最多となる見込みであると発表した。訪日外国人(インバウンド)需要も取り入れ、小樽観光の一翼を担う。銀鱈荘は、石狩湾を見下ろす高台にあり、全国的に注目し始められている。

(11) 6月22日(木) 博報堂アセアンは、タイでマーケティング・アンケート実施

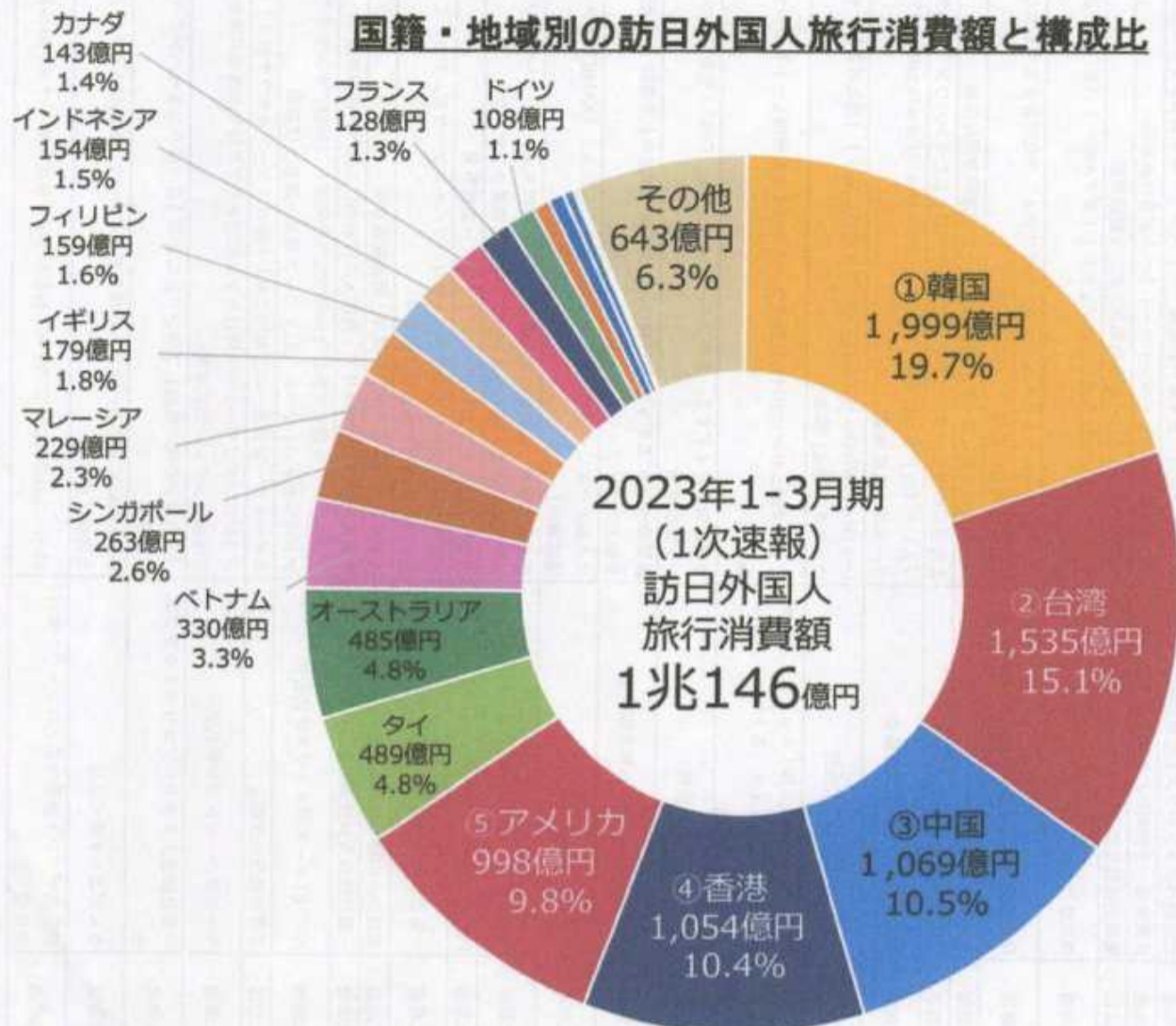
アセアンの人々の意識・行動に関する調査『アセアン生活研究2023』を実施した。世帯月収をもとに、中間層の中でも上位に該当する生活者を、新興富裕層と定義づけ、アセアン6か国で調査。タイのバンコクの場合、世帯月収6万5000～15万バーツ程度(約25万円～60万円)の上位5～10%にあたる層が対象。これらの人々は、知識や、スキル、貯蓄、などすべての面で、自分の考えに基づいて行動しており、大きな安定と成長が明らかで、訪日旅行についても関心が高い。十分わが国観光客のターゲットとなるであろう。

(12) 6月12日(月) 『ニセコで、オープンバスの運行始まる。』 電子チケットは、7月上旬から販売開始

北海道・倶知安観光協会は、2023年7月15日から、オープントップバス『スカイバス ニセコ』の運行を開始。日の丸自動車興業から、バスをリースし、地元のバス会社が運行。昼間は『ニセコ パノラマ号』、夜は『ニセコ ナイト号』として、1日最大16便を、シャトル便として運行予定。今季は、訪日外国人(インバウンド)の回復を見据えて、英語・韓国語・北京語・広東語の音声ガイドシステムも導入する。ルートは、夏の雄大な羊蹄山をどこからでも、望むことができる大自然を満喫しながら、楽しめるコースで、途中の観光スポットで、各個人が自由に乗り降りできることが可能(乗車券は3セット券)、「飲むヨーグルト引き換え券」などが乗車特典となる。

○令和5年1-3月期の訪日外国人（一般客）1人当たりの旅行支出は**21万2千円**と推計される。2019年同期（147,413円）に比べ**約43.8%増加**。
○訪日外国人旅行消費額は**1兆146億円**。2019年同期（1兆1,517億円）に比べ**約11.9%減少**。

国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比



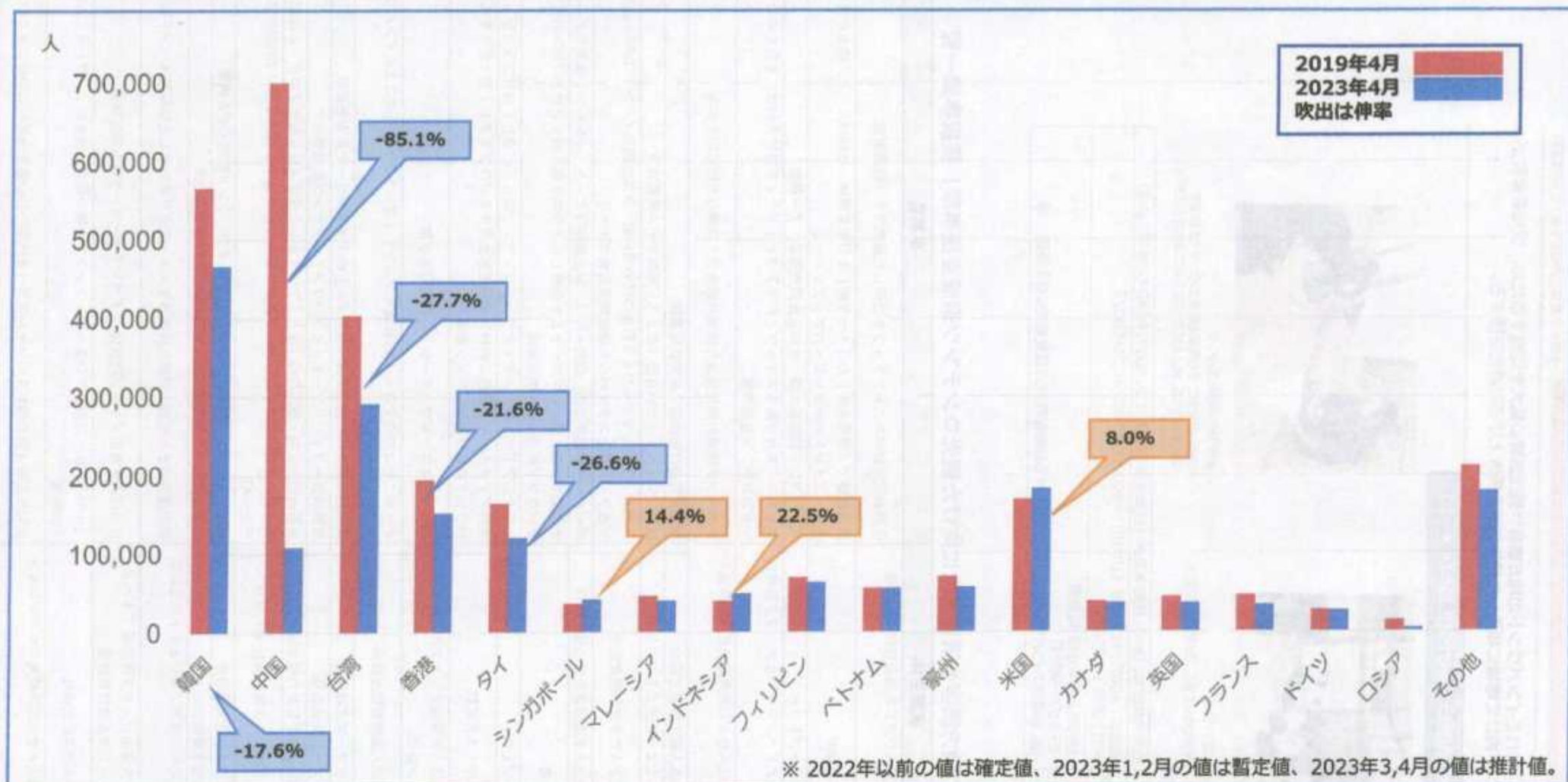
参考：2023年1月～3月 市場別外客数

順位	市場	人数
①	韓国	1,600,700人
②	台湾	786,700人
③	香港	416,200人
④	アメリカ	378,000人
⑤	タイ	244,700人
⑥	ベトナム	161,000人
⑦	中国	143,200人

出典 日本政府観光局 (JNTO)

出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査

2023年4月の市場別外客数 (2019年同月比)



※ 2022年以前の値は確定値、2023年1,2月の値は暫定値、2023年3,4月の値は推計値。

2023年4月 (人)	
韓国	467,000
中国	108,300
台湾	291,600
香港	152,800
タイ	121,000
シンガポール	42,000
マレーシア	40,200
インドネシア	48,700
フィリピン	62,800
ベトナム	161,000
豪州	56,100
米国	183,900
カナダ	36,800
英国	36,500
フランス	34,400
ドイツ	27,400
ロシア	4,400
その他	180,000

出典：日本政府観光局 (JNTO)

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業

令和4年度第2次補正予算：0.350百万円



○ 本格的な再開が見込まれるインバウンドの地方誘客や観光消費の拡大を促進するため、観光事業者が連携してインバウンド向けに地域に根差した観光資源を磨き上げる取組を支援する。

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた磨き上げ（イメージ）



✓「禅」をテーマとした体験型コンテンツ
→訪日外国人が「禅」の精神を理解できるような思想の深掘り・ストーリー構築を実施



✓和紙制作の体験型コンテンツ
→和紙の歴史や工程の理解を促すコンテンツを多言語で整備するとともに、職人と訪日外国人の交流の機会を創出

補助対象者	地方公共団体、DMO、民間事業者（民間事業者においては、地方公共団体との連携が必須）
補助率・補助上限額	補助率：400万円まで定額（10/10）+400万円を超える部分については1/2 補助上限額：1,250万円
補助対象経費	・旅行商品等の企画・開発費 ・モデルツアー実施費 ・国、地域毎のインバウンド促進に専門性を有する有識者等からの意見聴取に係る経費 等

(5月30日時点)

「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」採択事業一覧

NO	都道府県	実施主体	事業名
39	北海道	一般社団法人ひがし北海道自然美への道 DMO	冬期地域路線バスとタンチョウを活用した販売モデル構築事業
40	北海道	HEROES PARK	常呂遺跡で「世界水準」の「イセキ町」を目指す環境・地域づくりと、誰もが楽しめるアミューズメントパッケージへのアップグレード
41	北海道	株式会社コブトラベル	インバウンド誘客拡大版 冬の北見観光周遊ツアー事業
42	北海道	サイクルアドベンチャーオホーツク推進協議会	ニッポンの北見が誇るスイーツと絶景アクティビティを掛け合わせ、北見を味わうインバウンドコンテンツ造成事業
43	北海道	一般社団法人ひがし北海道自然美への道 DMO	オホーツク地域の観光資源と地域交通会社と連携した周遊観光事業
44	北海道	一般社団法人網走市観光協会	地域資源高付加価値販売促進事業
45	北海道	NPO法人なよろ観光まちづくり協会	旅コンシェルジュがいる街「なよろ」販売モデル構築事業
46	北海道	一般社団法人たきかわ観光協会	「市民と交流しながらつくる日本の旅の思い出・参加型観光イベント Takikawa紙袋ランタン&フードフェスティバルと地産地消費ツアー」
47	北海道	一般社団法人北海道きたひろ観光協会	ポールパーク世界発信 観光×NFT お土産NFTアート インバウンド販売モデル事業
48	北海道	合同会社青	北海道で「動と静」のプログラムを体感し心と身体を癒え再生させる「HOKUTO Retreat」インバウンド販売モデル開発事業
49	北海道	OEPプロジェクト	七飯大沼アドベンチャーサイクリングコンテンツのインバウンド向けブラッシュアップ事業
50	北海道	NPO法人やくも元気村	海外デジタルノマド誘致に向けた広域連携土台作りプロジェクト！雪と祭りを活用したインバウンド向けワーケーション事業
51	北海道	一般社団法人北海道ナショナルパークワーケーション協会	ニセコハイエンドワーケーション販売促進事業
52	北海道	一般社団法人倶知安観光協会	オールニセコでのグローバルMICEインセンティブコンテンツ造成によるインバウンド強化事業
53	北海道	ジャンボツアーズ北海道会	大自然に囲まれた国立公園「大雪ダム」deアイスカルーセル&冬遊び
54	北海道	大雪山ツアーズ株式会社	層雲峡カーフリーリゾート インバウンドコンテンツ展開事業
55	北海道	一般社団法人ひがしかわ観光協会	大雪山国立公園・東川町の「水」をテーマとした持続可能な観光プログラム造成
56	北海道	東武トップツアーズ株式会社 旭川支店	生産量・作付面積ともに日本一の蕎麦の里 大自然溢れるほろかないで体感するSOBAカルチャーAT
57	北海道	一般社団法人居住支援協会	摩周バスサウナ（MASYU BUS SAUNA）インバウンド販売モデル構築
58	北海道	札幌市除雪事業協会	世界最高水準！豪雪都市さっぽろにおける除雪職人の技
59	北海道	札幌農業の観光活用プロジェクト推進協議会	都市農業のまち札幌！世界に誇れるグルメ・アグリを追求した体験型イベント事業
60	北海道	さっぽろ大倉山ジャンプ競技場 アドベンチャーツーリズム実行委員会	さっぽろ大倉山ジャンプ競技場 アドベンチャーツーリズム実証事業
61	北海道	北海道中央バス株式会社	【小樽天狗山・歴史】デジタルコンテンツで小樽の観光と食を結ぶ、プレミアム体験イベントの販売
62	北海道	一般社団法人登別国際観光コンベンション協会	登別地獄谷「裏地獄」スペシャルツアー&地獄の谷の鬼火大高付加価値化プロジェクト
63	北海道	一般社団法人赤井川村国際リゾート推進協議会	世界が魅了する広大な白銀の世界を縦横無尽に動きまわる！ここならではの高品質な非日常体験！新しいスタイルで取り組むスノーアクティビティ商品開発事業

「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」採択事業一覧

NO	都道府県	実施主体	事業名
1	北海道	スマイルリンクさっぽろ実行委員会	札幌ならではの都市型スケートリンクを活用した観光消費拡大プロジェクト
2	北海道	特定非営利活動法人ウォークラボ札幌	世界へWell-beingな札幌を提供する都市型アドベンチャートレイル『さっぽろラウンドウォーク』造成事業
3	北海道	北海道訪日教育旅行促進協議会	北海道訪日教育旅行コンテンツ造成事業
4	北海道	札幌商工会議所	札幌の魅力をサウナを通じてインバウンドへ！札幌市観光活性化屋外サウナ事業 サウナの街さっぽろ～Sauna City Sapporo～
5	北海道	サッポロビール株式会社	ビールのまちさっぽろ 飲んで学べる博物館で紐解く日本のビール史と札幌の食&歴史・文化 インバウンド誘客事業
6	北海道	北海道函館市	中国人富裕層向け観光コンテンツ造成・販売事業
7	北海道	株式会社サンフレッシュサービス	函館と台湾の架け橋！函館の新定番ワンハンドグルメの開発
8	北海道	うんがぶらす株式会社	レトロな港町・函館の歴史と生活を伝えるインバウンド向けガイドツアーによる周遊・滞在商品造成事業
9	北海道	株式会社はこだて西部まちづくRe-Design	函館の魚文化・水産資源のストーリーを世界に発信！味道in函館プロジェクト
10	北海道	商店街ナイトマーケット実行委員会	体験型アートとナイトマーケットによる夜の商店街観光地化プロジェクト
11	北海道	小樽北運河ツーリズム推進協議会	Otaru Canal Night Experience !! 小樽運河100年記念事業
12	北海道	小樽歴史パーティー実行委員会	「北のウォール街」の重要文化財で極上の美食&芸術&交流体験 ホンモノの小樽を堪能する極上ハイクラスパーティー
13	北海道	公益財団法人似鳥文化財団 小樽事務所	小樽の歴史的建造物で特別体験 おたる潮太鼓や日本舞踊、和装など日本画と文化財・日本文化を堪能事業
14	北海道	一般社団法人釧路観光コンベンション協会	世界に誇れる観光資源を体験コンテンツで繋ぐKUSHIRO滞在型観光コンテンツ造成事業 ～9+4+6=19 (KUSHIRO NI IKU/Go To KUSHIRO)～
15	北海道	北海道バイクツーリズム推進協議会	～北海道を世界のライダーの聖地へ～ バイクツーリズムコンテンツ造成事業
16	北海道	日高東部・十勝南部広域連携推進協議会	日勝半島におけるアドベンチャートラベル誘客推進事業
17	北海道	炭鉄港推進協議会	日本遺産「炭鉄港」誘客多角化コンテンツ整備事業
18	北海道	株式会社レッドイーグルス北海道	氷都とまこまいの魅力向上プロジェクト！！ダブルポート（海、空）活用で地域で稼ぐ観光都市へ！
19	北海道	ひがし北海道エコモビリティ推進協議会	アドベンチャー・トラベル×エコ・モビリティ JR花咲線を活用したひがし北海道の新しい旅のカたちづくり
20	北海道	札幌観光バス株式会社	二次交通の充実による旅行最終日の新千歳空港周遊観光促進
21	北海道	一般社団法人深川観光協会	北海道深川市まあふオートキャンプ場を拠点としたインバウンド受入整備事業
22	北海道	一般社団法人北斗市観光協会	「人」と「食」をつなぐ旅 ファームトゥテーブル（Farm to table）持続可能な北斗フードツーリズム造成事業
23	北海道	NEW NURSING株式会社	One Health Niseko 日本の健康と医療を世界に売る！【禅と長寿】ニセコで体感する「日本型ウェルネス観光」事業
24	北海道	特定非営利活動法人Niseko Area Mountain Bike Association	ニセコ半島エリアにおける電動マウンテンバイクを活用したトレイルサイクリング事業の推進
25	北海道	ニトリ果樹園株式会社	今日の旬をガイドする 余市フルーツツーリズム DXによる多言語ガイドと域内滞在促進プラン造成事業
26	北海道	たかすてきツーリズム推進協議会	新雪の水田を「馬ぞり」で駆け抜ける！&伝統の農家めしを堪能！地元農家と大自然を満喫する極上アグリツーリズム体験
27	北海道	十勝岳温泉株式会社	<人生で一度は体験したい上富良野>を楽しみ尽くす「KAMIFUオンリーワン体験コンテンツ造成事業」
28	北海道	東武トップツアーズ株式会社旭川支店	真冬の北海道 広大な白銀の農地でずっと直線スノーモービル体験や雪下野菜堀り体験等 冬の農地&校舎を利用したインバウンド誘客観光コンテンツ
29	北海道	POTAMOS	天塩川流域のドリフトポートガイドツアー造成事業
30	北海道	一般社団法人豊富町観光協会	日本のヘルスツーリズムを学ぶ！サロベツヘルスツーリズムアカデミー ～冷刺激を活用した気候療法プログラム造成事業～
31	北海道	北国からの贈り物株式会社	礼文ガストロノミーツアー開発・販売促進事業
32	北海道	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会	北海道洞爺湖・社管エリア 外国人旅行者向け周遊バス運行事業
33	北海道	KNT-CTホールディングス株式会社	サイクリングを通して新ひだか町の魅力を発信！「新ひだか×サイクリング」推進のためのアドベンチャートラベル（AT）コース造成・磨き上げ事業
34	北海道	芽室町観光物産協会	スイートコーン日本一の芽室町でALL十勝の「コーン&サウナ祭り」と「ツアー造成」事業
35	北海道	キャピタル・ゼンリン株式会社	グランピングリゾートが手掛ける20世紀ドイツの村で北海道の豊かな自然を体感する滞在型体験コンテンツ造成事業
36	北海道	一般社団法人エクセルアスリートクラブ協会	「マラソンの街・札幌」ブランド化による「さっぽろなまらハンター！」インバウンド対応促進事業
37	北海道	うんがぶらす株式会社	～DO WALK 北海道～札幌・小樽を巡るインバウンド向けガイドツアーの販売を通じた滞在&消費促進事業
38	北海道	非日常ポイント絶景体感プロジェクト実行委員会	観光バスの通れない坂道を巡る自転車ツアー造成事業 サイトの多言語化とマップの充実

世界の宗教と食のルール、嗜好やアレルギー

キリスト教

少数派に肉、アルコールを避ける人がいますが、基本的に食に関する禁止事項はありません。

おもな国・地域：ヨーロッパ、北米、フィリピン

キリスト教徒：注意すべき主な食材

肉、アルコール、コーヒー、紅茶、お茶

仏教

一部の僧侶と厳格な信者には禁止されている食材があります。東アジア、ベトナム、チベット、モンゴルなど、大乗仏教が広まっている地域に多くみられます。

おもな国・地域：タイ、ミャンマー、スリランカ、中国、ベトナム、チベット、モンゴル、ブータン、カンボジア

仏教徒：注意すべき主な食材

肉全般、ニンニク、ニラ、ラッキョウ、玉ネギ、アサツキ

イスラム教

イスラム教を信仰する人々をムスリムといいます。イスラム教には生活習慣に関するさまざまな教義があり、ムスリムたちはそれに基づいて生活しています。イスラムの決まりに則って食べることが許されている食品や料理は「ハラール(許された行為・物)」といいます。

豚肉を口にしてはいけないという決まりがあり、豚を使用した加工食品、豚のエキス、油脂、調味料など、豚由来の成分にも注意が必要です。アルコールも口にせず、みりんも禁忌となります。醤油、味噌など発酵食品に微量に含まれるアルコールさえも口にしない人もいます。豚肉以外の動物性の食材も屠畜方法などに決まりがあり、決まりに基づいた屠畜方法で処理された肉(ハラール肉)以外は避けるべきとされています。

また、ムスリムには年に一度、断食月(ラマダーン)があります。旅行中には断食を行わない人もいますが、該当する時期に訪日したムスリムには配慮が必要です。*ムスリムのなかでも、国や地域等によって食の習慣が異なります。各人を尊重した対応が重要です。

おもな国・地域：中東、北アフリカ、バングラデシュ、インドネシア、マレーシア、パキスタン

イスラム教徒：注意すべき主な食材

豚、動物性の食材全般、アルコール

ヒンドゥー教

聖獣とされる牛の肉は食べません。高位のカースト、社会的地位が高い人ほど肉食を避ける傾向があります。

おもな国：インド、ネパール

ヒンドゥー教徒：注意すべき主な食材

牛、豚、魚、卵、生もの、ニンニク、ニラ、ラッキョウ、玉ネギ、アサツキ

ユダヤ教

ユダヤ教の食べ物に関する規定の事をコーシャ(コシェル)といいます。厳格な戒律があり、おもにコーシャの認定を受けた食材を使った食事を摂ります。

おもな国：イスラエル

ユダヤ教徒：注意すべき主な食材

豚、甲殻類、貝類、タコ、イカ、鰻、穴子、ナマズ

ベジタリアン

ベジタリアンとは、一般に「肉や魚などの動物性食品を食べない人」のことをいいます。乳製品や蜂蜜も食べないベジタリアンもいます。

ベジタリアン：注意すべき主な食材

肉、魚介類全般、卵、乳製品、ニンニク、ニラ、ラッキョウ、玉ネギ、アサツキ

アレルギー

特定の食品を摂取した後、皮膚や消化器、呼吸器などに異常が起こるのが食物アレルギーです。外国人にも多くみられるので注意が必要です。特にアナフィラキシーと呼ばれる、急性重度なアレルギー反応が出た場合には生死に関わることもあります。

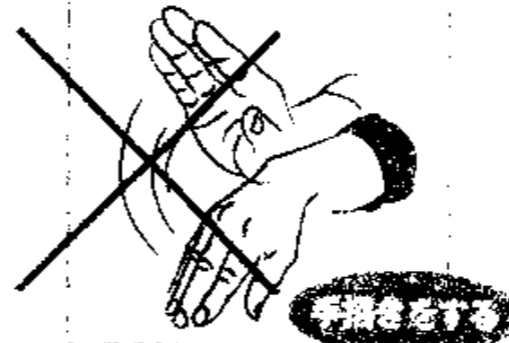
アレルギー：注意すべき主な食材

エビ、カニ、小麦、ソバ、卵、乳、落花生(これら7品目は、特に患者が多く症状が重い)

豚、イカ、イクラ、オレンジ、カシューナッツ、キウイフルーツ、牛、胡桃、胡麻、味噌、大豆、鶏、バナナ、豚、松茸、山芋、抹茶、ゼラチン

※アレルギー反応時には緊急対応が必要。119番緊急搬送、病院紹介が望ましい。

気を付けたいジェスチャー



手招きをする

「おいでおいで」と手招きするしぐさは、アメリカや中国などで「来ないでください」「あっちに行つて」という逆の意味になります。



OKのサイン

「OK」「大丈夫」などを示す人差し指と親指のサインは、南米やヨーロッパの一部などで重要な意味を持ちます。



親指を立てる

「いいね」という意思表示や、「了解しました」という意味の親指を立てるしぐさは、中東など一部の地域で侮辱的な意味合いを持ちます。



「いいえ」のしぐさ

「いいえ」や「結構です」という意味で顔の前で手を振るしぐさは、「臭い」という表現にとらえられることがあります。



お辞儀をする

お辞儀は、日本のしきたりでは丁寧な挨拶であり、感謝や敬意などを表しますが、馴染みのない外国人は違和感を感じることもあるようです。



頭をなでる

タイやカンボジアなどの仏教圏では、頭部は神聖な場所とされています。相手が子どもであっても頭をなでるのは失礼な行為です。

個人旅行(FIT)と団体旅行(Group)比較

旅行タイプ

- ・1人〜数名規模で、個人で計画して日本を旅行される方
- ・1つの宿泊施設に長期滞在される方も
- ・国を問わず大半の方は英語が使えるor英語でコミュニケーションを主体としている
- ・日本へのリピーターも多く日本文化に知識のある方も多い
- ・入国ルートは成田や関空、セントレアなどの大都市圏の大規模空港がメイン
- ・リピーターや目的により地方空港や地方都市中心の滞在客も(スキー、短期留学、買い物、地方観光等)
- ・移動手段としてはJR、バスなどの公共交通機関を使うことが多い。最近ではレンタカーも普及

国・エリア

- ・欧米諸国が中心ですが、アジア各国で日本を数多く訪れている国(香港、台湾、韓国など)でも大衆多い。
- ・特に中国からの富裕層を中心に増加傾向
- ・家族、カップル、一人旅、バックパッカー、友人

予約集客手段例

- ・インターネット予約がメインだが、旅行会社からの予約直接予約も多い。
- ・自施設の英語や各国語によるホームページの作成、海外OTAへの登録(オンライントラベルエージェント)、ガイドブックへの掲載、アジアではブローガー記事掲載やFacebookなどのSNSでの情報発信等

集客ポイント

- ・自施設の差別化と魅力発信、周辺観光資源の訴求
- ・近隣の行政、地域、宿泊施設が連携した魅力づくり
- ・TripadvisorやBooking.comなどの海外系サイトでの口コミ評価や件数・アワードの有無も影響
- ・周辺観光ができる訴求と表現、ターゲットが好む滞在方法提案(欧米→トレッキング、台湾→グルメ、中国→ショッピング等)
- ・アジア圏では団体向け商品が個人向けツアー商品にもなるため、旅行会社への提案も

対象施設規模一例

- ・一般的に小〜中規模(50室以下)の宿泊施設で多く取り組みがされている
- ・小〜中規模旅館やホテル、高級旅館、秘境や特に地方の施設、ゲストハウスやユースホステル系等

団体旅行(Group)

- ・数十人〜規模で団体ツアーによって日本を旅行される
- ・ツアーのため1つの宿泊施設には1泊程度の短期宿泊が多い
- ・ツアーに頼る(添乗員や通訳)ため、日本の場所や地名、過ごし方がわからない人も多い
- ・基本的に初訪日、日本語はもとより、英語ができない、方も多い
- ・入国ルートは大都市圏の大規模空港以外にチャーター便で地方空港もある
- ・完全に行く場所をほぼ固定化したものから、安価で自由がきくツアーも

- ・ほとんどがアジア各国から。特に近年は中国
- ・ヨーロッパのビジネス客
- ・アジア圏の修学旅行
- ・MICE

- ・旅行会社経由の予約が基本
- ・ターゲット国の旅行会社へのアプローチと営業、ファームトリップ実施、行政等地方団体と連携による営業
- ・海外で行われている旅行博へ参加、商談会参加等

- ・基本は旅行会社向けの提案。在庫出し、受け入れを積極的に
- ・地方都市はバス移動が中心なため周辺100キロ圏の観光資源を組み合わせる
- ・観光資源の提案
- ・近隣の地方空港への直行便の新設や増便も連携に
- ・その他個人向けポイントを実施していく

- ・中〜大規模施設(50室以上〜)の宿泊施設で多く取り組みがされている
- ・中〜大規模旅館やホテル、バジェットホテルや旅館、交通アクセスの良い(インター近等)のホテル

受け入れステージごとの主な実施内容例

◇STEP 1◇

受け入れる!を決意
手の届くところから

- ・インターネット上での予約や問い合わせに対応できる環境整備
- ・自社施設英語サイトの開設
- ・大手海外OTAへの登録、日本OTAで海外版を出している会社でのインバウンド利用開始
- ・クレジットカード対応
- ・洋式トイレ設置
- ・他社や他地域の調査
- ・インバウンド系セミナーへの参加による情報収集と学習
- ・簡単な英語での案内書類作成、張り出し、用意

◇STEP 2◇

成果や状態を把握し
準備と販売に
磨きをかける

- ・玄関施設名や館内書類の英語表記
- ・英語でのパンフレット
- ・より細かい館内施設案内書類作成と設置(風呂・客室・着衣の着方・施設情報等)
- ・事前メールフォーマット作成、やりとりをスムーズに
- ・禁煙室、ベッドルーム、WiFi環境の整備
- ・海外向け在庫増強
- ・海外営業の開始
- ・OTAやポータルサイトへの加盟増強
- ・明確なターゲットや集客目標の設定
- ・インバウンド系補助金取得
- ・海外メディアへのアプローチと研究
- ・関係諸団体や地方行政との意見交換・今後の方針決定

◇STEP 3◇

集客力・満足度を
維持・向上するための
さらなる改善と安定化

- ・他言語サイト、パンフレット、案内書類の整備
- ・周辺施設や地域観光の外国語パンフレットやマップの作成・整備や設置
- ・簡単な英語で案内できるように会話書類作成・トレーニング
- ・無料で使用できるPC設置
- ・海外営業強化
- ・地域間や行政、二次交通やその他機関との連携
- ・広域連携による周遊ルート確立と幅広い提案
- ・アンケート実施、口コミ数増加、アワード取得
- ・好まれるサービスの強化
- ・幅広いアレルギーや食事制限への対応
- ・集客目標、ターゲットごとのレビュー
- ・ファームトリップやブローガーの定期的な誘致

国・地域別エージェントリスト

中国



上海携程翠明 (CTRIP)



上海中国国際旅行社 (CITS)



広東中旅



上海錦江旅遊



上海春秋国際旅行社



広東南湖



上海中青旅



浙江省中青旅



中国旅行社總社



中青旅出境旅遊



衆信旅遊集团股份有限公司

台湾



東南旅行社



雄獅 (ライオン)



康福 (可樂)



良友



燦星



五福



創造旅遊



恒安旅行社

国・地域別エージェントリスト

シンガポール



Prime Travel&Tour



Chan Brothers Travel



DYNASTY TRAVEL



NEW SHAN TRAVEL



Lightfoot Travel



JTB Singapore

ベトナム



FXO Travel

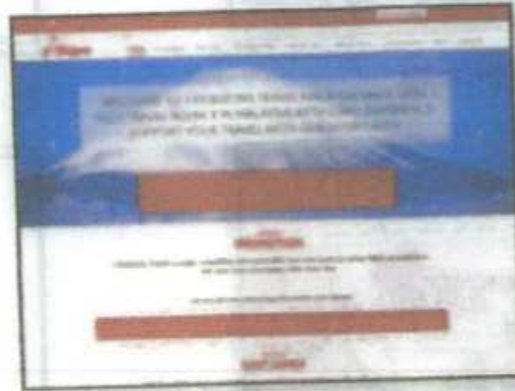


VIETRAVEL

マレーシア



Apple Vacations



J-HORISON



Hello Holidays (萬豪旅遊)



JTB MALAYSIA



Reliance Travel



Golden Tropics

タイ



Quality Express
(正好旅運)



SBA TRAVEL



JTB Thailand

韓国



HANA TOUR



LOTTE JTB